



 COREL™

Painter® essentials™ 5

クイック スタートガイド

目次

Corel Painter Essentials 5.....	1
コンピュータ、タブレット、2in1 デバイスで Corel Painter Essentials 5 を使用する.....	3
フォト アート:自動ペインティング.....	4
フォト アート:手作業でのペイント.....	5
フォト アート:トレース.....	6
一から描画またはペイントを開始する.....	7
ブラシを選択する.....	10
ブラシ カテゴリについて.....	11
ツールボックスについて.....	17
パネルとパレットについて.....	20
Corel Painter の製品ファミリー.....	23

Corel Painter Essentials 5

Corel® Painter® Essentials™ は、写真からペイントを作成したり一から描画やペイントを始めたりすることができる、直感的で、軽い、非常に速いソフトウェアです。幅広いペイントスタイルが用意されており、多様なプリセットによって数回クリックするだけで人を引き付ける写真作品を作成することができます。また、利用可能なブラシを使用して自分だけのペイント作品やイラスト作品を作成することもできます。

Corel Painter Essentials 5 の作業領域の見やすい外観や操作感覚は、整然とした環境の中で、使用頻度の最も高いツール、効果、コマンド、および機能に簡単にアクセスできるように設計されています。

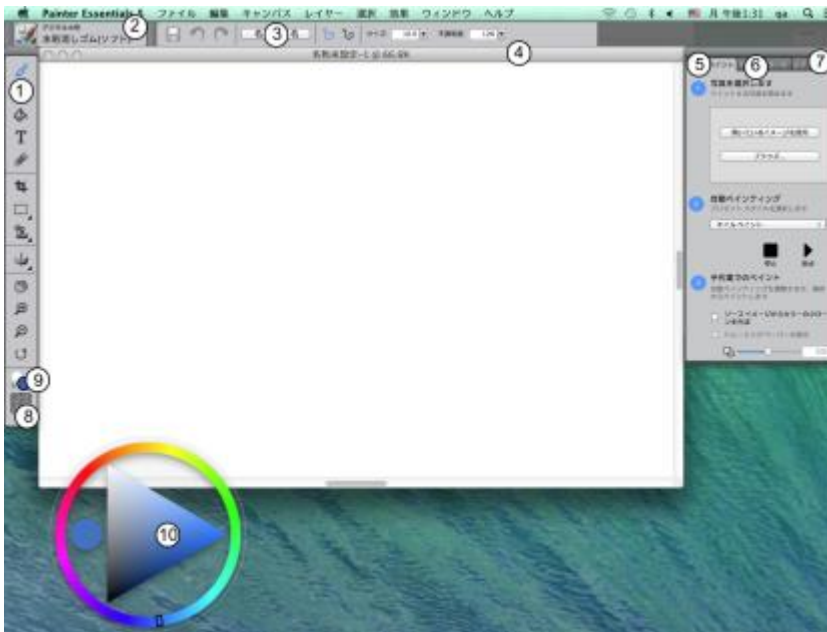


Corel Painter Essentials で作成されたアートワーク

作業領域の概要

作業領域は、メニュー、セレクトア、パネル、およびインタラクティブパレットに分類されています。

- ① **ツールボックス**: イメージの作成や変更に使用するツールにアクセスします
- ② **[ブラシ セレクトア] パー**: ブラシを選択します
- ③ **メニュー バー**: コマンドやオプションにアクセスします
- ④ **プロパティ バー**: アクティブなツールに関連する設定にアクセスします
- ⑤ **[フォト ペイント] パネル**: 写真を自動、または手作業でペイントします
- ⑥ **[ミキサー] パネル**: カラーをブレンドします。
- ⑦ **[カラー設定] パネル**: 現在のカラー設定のカラーを表示します



- ⑧ **テキストチャ セレクトア**: 用紙テキストチャを選択します
- ⑨ **現在のカラー**: 現在のカラーを表示したり変更したりします
- ⑩ **カラーホイール**: ペイントに使用するカラーを選択します

コンピュータ、タブレット、2in1 デバイスで Corel Painter Essentials 5 を使用する

本アプリケーションには 2 つの作業領域という機能があります。これにより、デバイスの設定をラップトップから 2in1 デバイスのタブレット モードに自動的に適用したり、タブレットの使用に適したインターフェイス (より大きなアイコンやボタン) が最適化することができます。タブレットとラップトップのモードをいつでも切り替えることもできます。モードを切り替えるには、**[ウィンドウ] ▶ [タブレット配置] ▶ [クイック切り替え]** の順にクリックし、使用するオプションを選択します。

Corel Painter Essentials 5 は、Wacom 互換のタブレットとデバイス、および Windows オペレーティング システムのリアルタイムスタイラス (RTS) 機能をサポートするデバイスをサポートします。どちらのグループのデバイスでも、マルチタッチ機能がサポートされます。

Wacom 互換のデバイスは、Mac OS と Windows の両方でサポートされます。RTS 互換デバイスには、タブレット PC とグラフィックス タブレットがあります。これらは、Windows でのみサポートされます。

デフォルトでは、Corel Painter は Wacom 互換のデバイスに最適なオプションを使用します。お使いの RTS 互換のグラフィックス タブレットまたはその他のデバイスのメリットを Corel Painter で最大限に活用するには、まず、そのデバイスを構成する必要があります。構成しないと、筆圧や傾きなどのスタイラス情報を使用して、ブラシストロークを調整およびコントロールできません。

スタイラスの設定 (Windows のみ)

コンピュータに Corel Painter Essentials 5 がプリインストールされている場合、事前設定済みのペンタブレットのサポートにより、マウスからスタイラス、またはスタイラスからマウスに切り替える場合でもシームレスにアプリケーションを操作することが可能です。

製品をダウンロードした場合やスタイラスを使用する場合、スタイラスが適切に動作するように、タブレットの設定の変更が必要になることがあります。タブレットの環境設定では、Windows のアプリケーションで使用するタブレットおよびその他のデバイスにとって適切なオプションを選択できます。

スタイラスの設定を変更する

- 1 **[編集] ▶ [環境設定] ▶ [タブレット]** の順にクリックします。
- 2 **[タブレット オプション]** 領域で以下のいずれかのオプションを選択します。
 - **互換性のある Wacom 製デバイス (Wintab)** - 互換性のある Wacom 製デバイスを使用できるようにします
 - **互換性のある RTS デバイス (リアルタイム スタイラス)** - RTS 機能を備えているタブレットまたはデバイスを使用できるようにします

フォトアート:自動ペインティング

Corel Painter Essentials 5 を理解するために良い方法の 1 つとして、写真上でペイントしてフォトアートを作成するという方法があります。始めるときに必要なものは、元のイメージに使用する写真だけです。フォトアートを作成するのに使用するツールは、[フォトペイント] パネルにあります。利用可能なプリセットには、印象派のペイントや水彩スケッチなどのペイントスタイルが用意されています。

プリセットスタイルを選択して、[ブラシライブラリ] パネルから異なるブラシを選択し、さまざまなバリエーションを試すことができます。詳細は、10 ページの「[ブラシを選択する](#)」を参照してください。



さまざまなプリセットスタイルを使用して写真をペイントに変換することができます。

自動ペインティングでは、ポートレートの風合いがぼやけすぎてしまうことがあります。このような場合、ブラシを使用して手作業で自動ペインティングを微調整することができます。ブラシには、目や顔にディテールを戻すソフトクローンなどがあります。ブラシの選択方法について詳しくは、10 ページの「[ブラシを選択する](#)」を参照してください。

自動ペインティングを使用する

- 1 ペイントに変換する写真を開き、**[フォト ペイント]** パネルの **[開いているイメージを使用]** をクリックします。
異なるイメージを使用する場合は、**[参照]** をクリックします。
- 2 **[自動ペインティング]** 領域でポップアップ メニューからプリセット スタイルを選択します。
- 3 **[開始]** ボタンをクリックします。

自動ペインティングは、ペイントが終了すると自動的に停止します。自動ペインティングを早めに停止するには、**[停止]** ボタンをクリックします。



手作業で最後の仕上げを施すことができます。さまざまなペインティング効果を試すには、ブラシや用紙テクスチャなどの設定を変更します。

フォト アート:手作業でのペイント

プリセットのペイント スタイルを使用する以外にも、手作業で写真をペイントすることができます。写真に含まれる精細さがペイントには含まれないことが多くあります。手作業でペイントする場合は、主要な構図要素を選択してから、素早くラフなストロークで選択領域のペイントを開始してください。キャンバスの全面を塗り潰してしまわないようにペイントしてください。キャンバスの一部が透けて見えることで、無造作で流れるような質感を与えることができます。隣の領域とわずかに重なってもかまいません。基本は、素早く自然にブラシを動かすことです。

作品の芸術性を高める上で効果的なスタイラスやタブレットを使用することを推奨します。

手作業で写真をペイントする場合は、**[クローン]** カテゴリからさまざまなブラシを試して異なるスタイルを適用できます。詳細は、10 ページの「**ブラシを選択する**」を参照してください。



手作業で写真をペイントする

手作業で写真をペイントする

- 1 [フォト ペイント] パネルで [参照] をクリックし、ペイントに変換する写真を選択します。
- 2 [ソース イメージからカラーのクローンを作成] チェックボックスがオンになっていることを確認します。
- 3 [トレーシング ペーパーの表示] チェックボックスをオンにします。
- 4 イメージ上にペイントします。



ズーム レベルを調整してペイントの細部を編集できます。また、適宜トレーシング ペーパーを非表示にして結果を確認することもできます。

フォト アート:トレース

写真にペイントする以外にも、トレーシング ペーパーを使用して写真やその他のアートワークの輪郭を描くことができます。この輪郭をペイントに利用することもできます。または、写真をトレースして木炭やチョークの描画などのスケッチを作成することも可能です。



写真をトレースしてスケッチを作成する

写真をトレースする

- 1 [フォト ペイント] パネルで [参照] をクリックし、トレースする写真やその他のアートワークを開きます。

- 2 **[トレーシング ペーパーの表示]** チェックボックスをオンにし、**[ソース イメージからカラーのクローンを作成]** チェックボックスをオフにします。
ペイント対象の元の写真を視覚的な参照として確認することができますが、ペイントに使用するカラーを選択できます。
- 3 キャンバスで描画し、参照として下にある元のイメージを参照して、イメージの輪郭を描きます。
スタイラスの筆圧を変えることで、暗いトーンや明るいトーンを適用できます。陰影は多少変化させてもかまいません。



トレーシング ペーパーの不透明度を変更するには、**[トレーシング ペーパーの不透明度]** スライダーを移動するか、**[トレーシング ペーパーの表示]** チェックボックスをオフにしてトレーシング ペーパーを非表示にします。

一から描画またはペイントを開始する

一から描画またはペイントを開始する場合は、キャンバスのサイズや方向を設定し、多様なブラシからブラシを選択してカラー ホイールからカラーを選択してペイントすることができます。

Corel Painter Essentials 5 では、実際の表現手段を念頭に置いて設計された各種のブラシが用意されているので、ブラシがどのように機能するかを予測できます。Painter のブラシは、オイル ペイントや水彩画だけではなく、鉛筆、ペン、パステル、その他の表現手段などさまざまな表現手段を使用してペイントや描画することが可能です。

ブラシ バリエーションとも呼ばれる個々のブラシがブラシ カテゴリ別に [ブラシ ライブラリ] パネルに保存されています。詳細は、10 ページの「[ブラシを選択する](#)」を参照してください。

ブラシ バリエーションはそのまま使ってもよいですし、目的に合わせて調節して使うこともできます。ブラシのサイズ、不透明度、粗さ (ブラシストロークのテクスチャに対する反応) などの項目だけを少し調節して使っているアーティストも多くいます。これらの設定はプロパティ バーにあります。

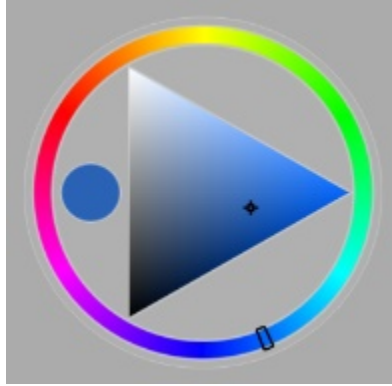


多様なブラシを使用してオリジナルのアートワークを作成できます。

Corel Painter の大半のブラシは、イメージにカラーを適用するものです。ただし、一部のブラシは既にイメージにあるカラーに変更を加えるためのブラシです。たとえば、**[水滴]** ブラシ バリエーション (**[ブレンド]** ブラシ カテゴリ) は、ブラシストロークで既存のカラーを薄めて伸ばします。この種のブラシはキャンバスやレイヤーの空白部分で使っても何も起きません。

カラー ホイール

カラー ホイールを使用してカラーを選択できます。




カラーホイール:(1)色相リング、(2)選択カラー、(3)彩度/明度トライアングル

カラーリングを使用して、[色相リング]からカラーを選択したり、[彩度/明度トライアングル]からカラーを調整することができます。

[彩度/明度トライアングル]の一番上は最大値(白)で、一番下は最小値(黒)を表します。彩度は、左から右に増加します。右にドラッグするか、右側をクリックすると、彩度が高くなり主色相の純色に近くなります。左にドラッグするか、左側をクリックすると、カラーの彩度が下がり、「くすんだ」、グレーがかった色になります。

アプリケーションウィンドウ内でカラーホイールを移動するには、ホイールを新しい場所にドラッグします。

一からペイントを開始する

- 1 [ファイル] ▶ [新規作成] をクリックし、いずれかのオプションを選択してキャンバスを設定します。
- 2 ツールボックスで **ブラシツール**  をクリックします。
- 3 [ブラシセレクト] バーの [ブラシセレクト] をクリックして、ブラシのカテゴリおよびバリエーションを選択します。
- 4 カラーホイールでカラーを選択します。
- 5 キャンバス上にペイントします。



[プロパティ] バーのコントロールを使用して、ブラシのサイズやその他の設定を変更できます。

ブラシストロークを元に戻すことができます。元に戻すには、[プロパティ] バーの [元に戻す] ボタンをクリックするか、ツールボックスの **消しゴム** ツールを使用します。

ブラシを選択する

[ブラシ ライブラリ] パネルでは、さまざまなブラシ カテゴリからブラシを選択できます。また、最近使用したブラシを表示することもできます。



[ブラシライブラリ] パネルにアクセスするには、[ブラシセレクト] バーの [ブラシセクタ] をクリックします。

[ブラシライブラリ] パネルでは、ブラシはカテゴリに分類されています。カテゴリには、ブラシバリエーションが含まれています。ブラシカテゴリは、同系のブラシとメディアをグループ化したものです。ブラシバリエーションとは、ブラシカテゴリに含まれている特定のブラシのことです。




[ブラシ ライブラリ] パネルでは、ブラシのカテゴリやバリエーションを表示できます。

[ブラシセクタ] バーを表示する/隠すには

- [ウィンドウ] ▶ [ブラシセクタ] を選択します。

ブラシのカテゴリやバリエーションを選択する

- 1 ツールボックスで **ブラシツール**  をクリックします。

- 2 ブラシセレクト バーのブラシセレクトをクリックします。
- 3 **[ブラシライブラリ]** パネルで、ブラシカテゴリをクリックし、ブラシバリエーションをクリックします。

ブラシ カテゴリについて

以下の表で、Corel Painter Essentials 5 で利用できるブラシのカテゴリの説明とブラシストロークのサンプルを示します。

ブラシ カテゴリ

ブラシストロークのサンプル

アクリルとオイル

[アクリル] カテゴリのブラシ バリエーションは、キャンバスに速乾性のペイントを施すことができる便利なブラシです。ほとんどのブラシは下になるブラシストロークを塗り潰すことができ、多くは多色使いのブラシストロークに対応しています。



ウェット ソフト アクリル

[油彩] カテゴリのブラシ バリエーションは、まさに油彩のようなタッチで描画します。このうち、半透明のものはグレージング手法に向いています。残りの不透明なものは下の色を塗り潰します。



細目キャメル

ブラシ カテゴリ

ブラシストロークのサンプル

エアブラシ

[エアブラシ] はスプレーで色を吹き付ける、感触も操作も本物にそっくりなブラシです。ほとんどのエアブラシは 1 回のブラシストロークで色を重ね塗りすることができますが、この機能を持たないデジタル エアブラシもあります。デジタル エアブラシで色の重ね塗りを行う場合は、ブラシストロークを何度もオーバーレイする必要があります。



細目スプレー

アーティスト

[アーティスト] カテゴリのブラシ バリエーションは、絵画の巨匠の画風を模したブラシです。たとえば、ヴィンセント ヴァン ゴッホの絵のように、それぞれのストロークに複数の色があるタッチで描くことができます。



サージェントブラシ

フォト ペイント ブラシ

写真の自動ペインティング時もブラシを使用することはできますが、**[フォト ペイント]** カテゴリのブラシ バリエーションは自動ペインティングに特別に最適化されています。**[フォト ペイント]** ブラシを使用するには、ペイントの参照元として使用できる写真やその他の種類のイメージを開く必要があります。ブラシストロークとキャンバスの反応性を細かくコントロールする場合は、**[プロパティ]** バーで個々のストロークの設定を変更します。



印象派クローン

ブラシ カテゴリ

ブラシストロークのサンプル

ブレンド

[ブレンド] ブラシは、触れたところのピクセルをずらしたり色を混ぜたりするブラシです。このブラシは、水やオイルで絵具を溶かし混ぜる動作を模倣します。また、鉛筆スケッチや木炭ドローイングで実際にするように、線を柔らかくしたり陰影をつけたりするのにも使えます。



水滴

チョーク、パステル、クレヨン

[チョーク] カテゴリのブラシ バリエーションは、本物のチョークのような厚付きで表情に富んだストロークで描画します。紙のテクスチャをよく反映し、不透明度はスタイラスの筆圧に反応します。



角チョーク

オイル パステルを含む **[パステル]** カテゴリのブラシ バリエーションは、テクスチャがはっきり出る固めのものから、滑らかに描けて下の色をきれいに塗り潰す特別に柔らかい (X-ソフト) タイプのものまで、いろいろなものが揃っています。不透明度がスタイラスの筆圧で変化するブラシです。



X-ソフトパステル (角)

ブラシ カテゴリ

[クレヨン] カテゴリのブラシ バリエーションのタッチはさまざまです。ソフトなもの、固めのもの、透明感のあるもの、テクスチャが強く出るものといろいろありますが、すべてテクスチャに反応します。他のドライ メディア系ブラシと同じく、スタイラスの筆圧で不透明度が変化します。

ブラシストロークのサンプル



クレヨン

クローン

[クローン] カテゴリのブラシ バリエーションは、動作そのものは他のブラシと同じですが、クローン ソースまたはサンプリング ソースのカラーを写し取って描画するという特徴があります (**[フォト ペイント]** ブラシとよく似ています。)。元のイメージは写し取られると同時にブラシの特性によってフィルタ効果がかかり、チョークや油彩などの絵画的なタッチに変換されます。



ソフトクローン

デジタル水彩

[デジタル水彩] カテゴリのブラシ バリエーションは、キャンバスのテクスチャを生かしつつ水彩の効果をもたらす、より写実的にフロー、混合、吸収をコントロールすることができます。**[デジタル水彩]** ブラシストロークの幅は、スタイラスの筆圧によって変化します。



ぼかし水彩

ブラシ カテゴリ

ブラシストロークのサンプル

F-X

[F-X] カテゴリのブラシ バリエーションは、面白いものばかりです。色がつくものもあれば、下にあるイメージを変化させるものもあります。**[F-X]** のカテゴリのブラシを知るには、既存のイメージや白いキャンバスで試してみるのが一番です。



グロー

粒子

[粒子] ブラシは、物理学からヒントを得たブラシで、アートワークに独特の外観と雰囲気を与えます。中心点から粒子を放出し、それらがキャンバス上を移動すると、粒子で線 (パス) のパターンが描画されます。



スプリング レインボー シルク

パターンペン

[パターンペン] カテゴリのブラシ バリエーションはパターンをブラシに乗せて描画します。ブラシストロークになって描かれるパターンは、縮尺や不透明度が変化しています。



パターンペン

ブラシ カテゴリ

ブラシストロークのサンプル

鉛筆、ペン、マーカー

[鉛筆] カテゴリのブラシ バリエーションは、スケッチから精密な線画まで、実際の画材として鉛筆を使うような作業に最適です。本物の鉛筆と同じようにキャンバスのテクスチャで表情が出ます。多くのバリエーションが重ねて描くと色が暗くなる重ね塗りタイプで、どれも不透明度がスタイルスの筆圧で変化します。**鉛筆**の線の太さはストロークの速さに応じて変化し、速くドラッグすると細い線になり、ゆっくりドラッグすると線が太くなります。

[ペン] カテゴリのブラシ バリエーションは、インク詰まり、インク漏れ、インク切れといった実物のペンの欠点に悩まされることなく、本物に近い線を描くことができます。**[カリグラフィ]** ブラシを使って、テクスチャのある紙の上に描いたカリグラフィ ペンのようなストロークを再現できます。

[マーカー] カテゴリのブラシ バリエーションは現実的な従来のマーカーを再現します。種類も極細から先の太いものまで、ペン先の形状もさまざままで、不透明度にも幅があります。



鉛筆(塗潰し)



カリグラフィ ペン



フェルトマーカー

ブラシ カテゴリ

ブラシストロークのサンプル

スポンジ

[スポンジ] は現在の選択色で下にある色を覆い隠したり、あるいは混色したりしながら、画面に表情を与えるのに使います。**[色引きウェットスポンジ]** はドラッグした道筋に沿って、選択色を地色と混色しながら描画します。



色引きウェットスポンジ

ツールボックスについて

ツールボックスでは、ペイント、形状の塗潰し、ドキュメントの表示と移動、選択範囲を取り込むツールを使用できます。ツールボックスの下には、カラー セレクタとテキスト セレクタがあります。

以下の表で、Corel Painter Essentials 5 ツールボックスのツールを説明します。

ツール

内容

カラー ツール



ブラシ ツールを使用すると、キャンバスまたはレイヤー上にペイントまたは描画できます。ブラシのカテゴリには、鉛筆、ペン、チョーク、エアブラシ、油彩、水彩などがあります。**ブラシ** ツールを選択すると、[ブラシライブラリ] パネルが表示され、そこから特定のブラシを選択できます。



既存のイメージから色をサンプリングできます。プロパティバーで色の値を確認できます。**スポイト** ツールで色を選択すると、[カラー] パネルにもその色が示されます。



塗潰し ツールを使って、カラーで領域を塗潰すことができます。プロパティバーには、塗潰し

ツール

内容

可能な領域と使用可能なメディアのオプションが表示されます。

テキスト、消しゴム、切り抜きツール



文字の形をしたイメージを作成できます。フォントやポイント サイズを設定するには、[プロパティ] バーを使用します。



消しゴム ツールを使って、ブラシストロークを使用してイメージから不要な領域を削除できます。



切り抜き ツールを使って、イメージから不要な領域を切り取って削除することができます。

選択範囲ツール



長方形の枠でイメージを選択できます。



楕円形の枠でイメージを選択できます。



投げ縄 選択ツールを使用してフリーハンドで選択範囲を指定できます。



イメージをクリックまたはドラッグすることで、類似した色の領域をまとめて選択できます。



選択範囲調整 ツールを使用して、**長方形**、**楕円**、および**投げ縄**の選択ツールで作成した選択範囲の選択、移動、操作を実行できます。



さまざまな変形モードを使用して、イメージの領域を変更できます。



レイヤーを選択、移動、編集するときに使用します。

ツール

内容

フォト ツール



スタンプ ツールを使用すると、**[ストレート クローン]** カテゴリのブラシ バリエーションに素早くアクセスでき、イメージ内やイメージ間の領域をサンプリングできます。



イメージのハイライト、中間色、影の部分を明るくできます。



イメージのハイライト、中間色、影の部分を暗くできます。

対称ツール



完全な対称ペインティングを作成できます。



万華鏡 モードを使用すると、基本的なストロークをカラフルで対称的な万華鏡のようなイメージに変換できます。

ナビゲーション ツール



イメージを素早くスクロールできます。



ズーム イン ツールを使用すると、細かい作業を行うときにイメージの領域を拡大表示することができます。



ズーム アウト ツールを使用すると、イメージの領域を縮小表示することができます。



描きやすい角度になるように、イメージを回転できます。

ツール

内容

セレクト



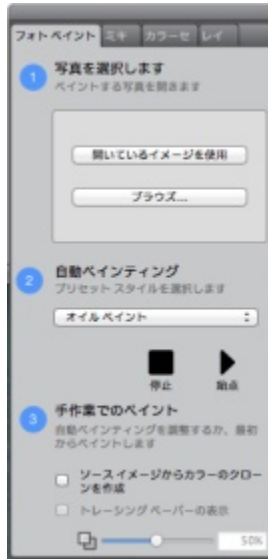
カラー セレクトを使用すると、メインカラーとサブカラーを選択できます。前面のタイルにはメインカラー、背面のタイルにはサブカラーが表示されます。



[テキスト] パネルを開きます。**[テキスト]** パネルでは、キャンバスの表面のテキストを選択して変更し、ストロークを適用するときによりリアルな結果を得ることができます。

パネルとパレットについて

Corel Painter Essentials 5 のインタラクティブ パレットは 1 つのタブが付いたコンテナで、コンテンツ ライブラリ、コマンド、コントロール、各種設定にアクセスできます。パネルはパレット内に格納されます。パレットには、1 つまたは複数のパネルを格納できます。たとえば、よく使用するパネルを 1 つのパレット内に配置できます。また、Corel Painter ウィンドウ内でパネルやパレットを並べ替えると、よく使用するツールやコントロールに素早くアクセスでき、画面のスペースも節約できます。たとえば、1 つのカラー パレットに、カラー関連のすべてのパネルを表示することも、パネルを個別に表示することもできます。



このパレットには、[フォトペイント]、[ミキサー]、[カラーセット]の3つのパネルがあります。パネルにアクセスするには、そのパネルのタブをクリックします。

パネルについて

Corel Painter Essentials 5には、さまざまなツールや設定を含むパネルが複数あります。

パネル

内容

フォトペイント

フォトアートの作成に必要なすべてのツールが用意されています。

ミキサー

ミキサーパレットでは、実際の絵具パレットと同じように色を混ぜたりブレンドしたりできます。

カラーセット

現在のカラーセット内の色を表示し、色のグループを分類します。

[ナビゲーション] パネル

縮小表示せずにドキュメントウィンドウを移動できます。

レイヤー

Corel Painter Essentials 5書類のすべてのレイヤーをプレビューしたり、並べ替えたりできま

パネル

内容

す。レイヤーの追加、削除、最小化を実行できます。また、合成方法、不透明度の調節、レイヤーのロック/ロック解除を設定することもできます。

パネルとパレットを再配置する

作業に合わせて、パネルを並べ替えることができます。たとえば、タスク関連のパネルを 1 つのパレットでグループ化するなどです。また、パネルを追加または削除、パネルの位置を変更、またはパネルを別のパレットに移動すると、パレットを随時カスタマイズできます。

パネルは、必要に応じて簡単に表示でき、作業を終了したらパネルを素早く閉じることができます。パネルやパレットを最小化したりそれらのサイズを変更することで、画面のスペースを節約しつつ、アプリケーション内にパネルやパレットを表示させておくことができます。

パレットとパネルは作業領域の前面に表示されます。ドッキングすると、パネルやパレットは Corel Painter ウィンドウの一部として、垂直の端に吸着されます。ドッキングを解除するとパネルやパレットが切り離され、移動できるようになります。ドッキングを実行するには、パネルのタブか、パレットのヘッダーバーをドラッグします。



標準的なパレットには、ヘッダーバー (1) とパネルタブ (2) があります。

パネルをパレットにグループ化する

- 以下の表を参考にして操作を行います。

目的

操作内容

パネルをパレットにグループ化する

パネルのタブをつかみ、開いている別のパネルにドラッグし、グループを作成します。

パネルをパレットに追加する

パネルをパレットにドラッグします。

パレットからパネルを削除する

パネルをパレットの外にドラッグします。

パレット内のパネルの位置を変える

パネルのタブをつかみ、パレット内の別の場所にドラッグします。

パネルまたはパレットを非表示にする

- [ウィンドウ] ▶ [パネル名] を選択します。



既に隠されているパレットを復元するには、[ウィンドウ] を選択し、パレットに含まれているパネルの名前を選択します。

すべてのパネルを非表示にするには、[ウィンドウ] ▶ [パネルを隠す] の順にクリックします。[ウィンドウ] ▶ [パネルの表示] を選択すると、[パネルを隠す] を選択したときに開いていたパネルだけが表示されます。

パネルを拡張する/最小化する

- パネル タブをダブルクリックします。

Corel Painter の製品ファミリー

Corel Painter 製品ファミリーについて詳しくは、www.corel.jp をご覧ください。

Corel Corporation

1600 Carling Ave.
Ottawa, ON
K1Z 8R7
Canada

Corel UK Limited

Sapphire Court
Bell Street
Maidenhead
Berkshire SL6 1BU
United Kingdom

Corel TW

5F, No. 18 Jihu Road
Neihu, Taipei 114
Taiwan